

地域周産期母子医療センター

- ・産科病棟
- ・NICU (新生児集中治療室)

当院では、急変等にすぐに対応できるように「産科医、新生児科医、救命医、麻酔医、助産師」が24時間常駐しております。

当院では、陣痛の痛みを和らげる方法の一つとして**無痛分娩**を行っております。

詳細は武蔵野赤十字病院・地域周産期母子医療センターのWebサイトをご覧ください。

分娩：60万円ー 無痛分娩：72万円ー



産後ケア宿泊型サービス「アイルーム」 (武蔵野市事業)

出産後の「こころとからだの休息」と「リフレッシュ」を目指しています

母子1組 1泊2日 70,000円ー 母子1組 1泊2日 90,000円ー

・武蔵野市の方で、産後ケア事業の対象になる方には助成があります。
事前に武蔵野市に申請書を行い、「乳児健康費」の交付を申し込みください。
詳しくは武蔵野市の健康課 03-422-65-6700 にお問合せください。
詳細は武蔵野赤十字病院・地域周産期母子医療センターのWebサイトをご覧ください。

<https://www.musashino.jrc.or.jp> 〒180-8610 武蔵野市境南町1-26-1 ☎0422-32-3111

Eye むさしの



頼れる病院をめざします

健診センターからのお知らせ

「土曜日」開設の人間ドックご案内

- 平日は忙しくて！という方向け

平日は忙しくて健診を受けられない方（65歳以下）を対象に、土曜日の人間ドックを開設しました。



—申し込み方法—
電話予約または直接健診センターへの来院予約
月曜日～土曜日 午前9時～午後4時
(但し年末年始 12/29～1/3及び5/1は除く)

電話番号 0422-30-5638 (直通)
または 0422-32-3111 (代)

「平日」開設の認知症ドックご案内

- 頭健康を意識する方向け

体の健康だけでなく、頭の健康を意識する方向けに、認知症に重点を置いた認知症ドックを平日に開設しました。



健康管理の一環として、武蔵野赤十字病院健診センターをご利用ください。
お待ちしております。
★詳しくは病院ホームページの「人間ドックのご案内」で紹介しています。



基本理念

- 病む人への愛
- 同僚と職場への愛
- 地域住民と地域への愛
- 地球、自然、命への愛

基本方針

- (1) 患者・家族から信頼される安全な医療を提供します
- (2) 地域中核病院としての機能向上を図ります
- (3) 地域の医療機関・行政と連携して市民が安心して住める地域づくりを進めます
- (4) 質の高い医療を提供するため、安定した病院経営を継続します
- (5) 働きがいがあり、成長を実感できる職場をつくります



新年を迎えて



院長 泉 並木

あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症のため日常生活や社会活動が制限されて不自由な暮らしになっていたのが、やっと通常の日常生活を取り戻せてほっとされている方が多いと存じます。病院においても、たくさんのコロナに感染した患者さんの入院診療を受け入れてまいりました。コロナウイルスに感染した患者さんの診療を行いながら、地域にとって必要ながん診療や心臓血管疾患、脳神経疾患、整形外科、周産期、救急診療などの通常の医療は職員皆で力を合わせて取り組んできました。このため、地域における必要な医療は滞りなく行うことができたと思っています。

検診や人間ドックを受ける人がコロナウイルス感染症のため少し減っていましたが回復してきています。武蔵野赤十字病院ではAIを使った大腸内視鏡など検診システムを新しく整備しています。検診はさまざまな疾患を早期発見するために重要です。新病院にはPET CTをいれる予定にしています。さまざまな早期がんが診断できるだけでなく、認知症の早期診断にも使えます。新病院が完成したら、是非活用していただきたいと思います。

武蔵野赤十字病院では、病院の機能を高めて高度な医療を行いIT化などわが国が進めている対策に対応するために、新病院を建築しています。感染症の対策をとりやすいように、全病室を個室にして、手術や放射線診療機器を充実させています。2025年に竣工予定ですが、その間駐車場が減ってしまいます。患者さんはなるべく公共交通機関を利用して病院に来ていただきたいと思います。騒音などご迷惑をおかけしますが、ご理解いただければ幸いです。武蔵野赤十字病院では、今後とも地域の皆さまが安心して病気や怪我の治療ができる体制を作っていきたいと思っていますので、今年もよろしくお願ひ申し上げます。

新年を迎えて～ACPを考えてみませんか？～



看護部長 奥田 悦子

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

2023年5月に、新型コロナウイルスも2類感染症から5類感染症に変更されました。そのためコロナ禍以前の状態に戻すかのように、世の中は活発に動き始めた印象があります。

そのような中で新年を迎えられた皆様、突然ですがACPを考えてみませんか？

そもそも「ACP(エーシーピー)って何？」とおっしゃられる方、ACPIは「Advance Care Planning(アドバンス ケア プランニング)」の略で、アドバンス(前もって)ケア(介護や医療のケア)プランニング(計画を立てる)ことを言います。

「何の前？」それは、終末期です。

ACPは、将来の変化に備え、将来の医療及びケアについてあなた(病院では「患者さん」を主体に、そのご家族や近い人、医療・ケアチームが繰り返し話し合いを行い、あなた(患者さん)の意思決定を支援するプロセスのことです。厚生労働省では「人生会議」と言っています。

新年早々縁起が悪いとおっしゃる前に、自分で考えられるうちに行動されることをお勧めします。いずれ私たちは、100%最期を迎えます。それをどう迎えたいのか考えることは重要であり、その考えは尊重されるべきです。

「少しでも長生きしたいから、できる限りの治療をして欲しい」「ここまで生きてきたから、人工呼吸器とかして欲しくない。苦しい思いや痛い思いはしたくない」など、様々な考えがあると思います。

ACPIに正解・不正解はありません。大事なのは「何故、そう考えるのか？」なのです。そして、その考えや思いを近い方と共有して下さい。

当院には、多くの方が救急搬送されます。意識がない方、心肺停止など重症な方が搬送されると、本人の意思が確認できず意向に沿えない場合もあります。

あなたの考えや思いをエンディングノートなどに書き、それを外来受診や入院の際に医療関係者と共有してください。あなたの思いを医療者としてサポート致します。